

令和四年

松香 Komunikado

令和四年五月度月次祭 ごあいさつ

分苑長 山本 健

Saluton al ĉiuj

皆様こんにちは。

神の家の草木もたくさんの花をつけています。過ごしやすい気候になってまいりました。

ただいまは令和四年五月度の月次祭を無事に斎行させて頂いたいただき、大変ありがたく思っております。ご奉仕くださいました皆様方、又オンライン参拝並びにお玉串をお送りくださり、誠に有難うございます。

五月四日（水）の三代教主教主補様聖誕祭、教主様生誕祭、五月五日（木）のみろく大祭と五月晴れの中、参拝させて頂きました。教主様はずいぶんとお元気になられ、誠にうれしく思わせていただきました。みろく大祭の教主様のご挨拶の中で、「不安を抱えている人が

五月八日発行

第二百九十号

大本松香分苑

豊橋市南牛川二・三・二〇

電話 ファックス

〇五三二・六三・二一七三

発行責任者 山本 健

多い今こそ大本の教えを堂々と胸を張って伝えるべき時ではないかと感じています、そのためには大本の教えを正しく理解してお腹に入れ教えを実践することでまづ周囲の人たちに信頼される人となることが大切だと思います。」等具体的に私たちのあるべき方向をお示し下さいました。詳細は動画や来月のみろくの世をご覧ください。

本日は、① 相談役、故山本文子の年祭について、② 今月のお知らせ及びトピックス、③ 最後に健康関連の三点をお話しさせていただきます。

一、山本文子相談役の年祭について

松本先生の年祭は十五年祭まで分苑で行い（一、二、三、四、五、十、十五年）、皆で参拝していただきました。相談役についても準じたいと思います。今月の参事会で承諾を頂きましたので、六月の月次祭後に一年祭をさせていただきたく思います。神饌物は松本先生の時と同様に山本が支払いますが、準備・祭典他ご協力の程宜しくお願い致します。

二、今月のトピックス

（1）具志堅幸司元日大学長による講演会について

昨年末から計画しておりますが、コロナも沈静化しつつありますので、この秋に開催したく、具志堅様と調整しまして、九月十一日（日）、又は十一月十三（日）の月次祭後、午後一時から四時を希望日程としました。早速、桜丘学園理事長にお願いしましたところ、至急確認して返事いただけることになりました。学生へのアンケート取られたようで、まとまった人数の希望者がいるように、お話を伺いました。最終的な返事はまだですが、もしこのどちらかで決まりましたら皆様のご協力をよろしくお願い致します。内容は具志堅様にお任せですが、いずれにしても宗教性を出さず

に、多くの方に聴講していただき何か得るものがあればと思っております。過去にも豊橋に大本の先生をお招きして講演会を実施しましたが、未信徒は数名でした。従って、宗教性をなくして、主催は榊ルーモ、協賛、桜丘学園、人類愛善松香分会かなと思っております。他機関での事例でも、ほとんどが信徒であったようです。宗教性が出てくれば会場は貸していただけないと思います。目的は、分苑の近隣の学校が、故桑原昭吉先生の清風高校のようにオリンピック選手を多く輩出できることを願っております。生きがいの探求はPRする予定ですので、これでご縁のある方があれば有難いと思っております。

（2）環境問題の一つになっているビニル袋の代替袋について

今本部では、おさがりを新聞紙で作った紙袋に入れて配られている。先月訪問した名古屋分苑も、又三月に訪問した北陸本苑の豊穰分所でも、手作りの紙袋を使用していました。当分苑も見習って、直会后（十二時四五分頃）のエスパーロで、杉原様に作り方を紹介していただきますので、新聞紙と糊、ハサミを準備して楽しみにお待ちしております。

(3) 主会長会議報告

四月十七日(日)に名古屋分苑に集まり ZOOM で参加、その後東海教区の打合せを実施しました。

*奉仕金、玉串、人型等全体的に下がってきている。

*みろくの世献金も目標未達。長生殿前の土地取得をまず優先する。

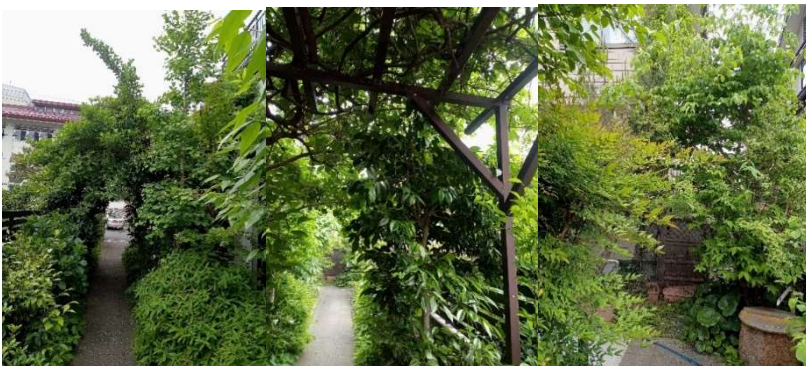
当分苑も各種実績の数字が下がってきておりますので、宣教活動の御用に励ましてもらいたく思います。

(4) 東海教区会議

東海教区内横の連携について、各機関ですべての活動を単独でしていくのが難しくなっています。ですので、教区で連携して助け合いができる体制づくりをしようということになりました。各機関の活動単位ごとの代表者が決まりました。関係者にはすでに担当者名簿をメールしております。取りまとめ役がメンバーに声かけてリーダーを五月末までに決めてもらうことになっております。松香分苑では、取りまとめ役は人愛担当の小林様、防災の藤澤様が決まりました。リーダーが決まりましたら皆様にも、一覧表をご案内予定でございます。

(5) 分苑庭木の剪定

分苑の草木が生い茂り、日陰になって花が咲かなくなったり、一部枯れてきたりしているため、今月の参事会で同意を得ましたので剪定をすることになりました。五月九日(月)から五月末の間でお願いしております。



三、健康関連については、今月は肉食の害

玉鏡に肉食の害について書かれていましたので、紹介いたします。

「獣、鳥、魚などの肉は一旦食物として消化されたものが肉となったのであるから、それを摂取してもあまり益はない。獣肉をたしなむと情欲がさかんになり、性質が獯猛になる。肉食をする人は本当の慈悲の心はもたない。肉食を主とする外国人は親子の間でも情愛がすくない。たとえば遺産があっても子には譲らずに伝道会社に寄付するとうようなものである。神に近づくときは肉食してはよくない。霊覚を妨げるものである。

逆に智・仁・勇の食物として、魚は智を養うものである。野菜を食べると憐れみ深くなり仁に相応し、米は勇に相応する。

Koran dankon



お土づくりFacebookリモート交流会

人類愛善会・愛善みずほ会 小林 善直

四月二十九日（金）、ZOOMで開催されました。特記事項をお伝えします。

本部機関紙五月号に『みずほAIZEN発酵堆肥』のパンフレットと申込用紙が同封されています。七月販売開始予定です。一体三十リットル六六〇円、これは他の市販堆肥と比べてお値打ちです。問題は送料になります。宅配便対応していますが、高額になります。費用を抑える一番良い購入方法は亀岡に自分で受け取りに行くことになります。聖地大祭や月次祭参拝、道場修行に車で出掛け持ち帰るようにすることも一案です。

堆肥は化学肥料の施用や農薬散布で失われた地力をよみがえらせる効果があるものです。連作障害も防げます。人に例えるのなら、基礎体力、免疫力にあたるのが、畑やお土にとつての地力です。地力を高めるのが堆肥です。即効性のあることではありませんが、施用し続けることで着実に成果が上がります。特に家庭菜園やプランター栽培など狭い範囲での効果は広い畑に比べて顕れやすいといえます。開祖大祭ではこの堆肥を使って栽培した野菜の写真をお供えする計画が予定されています。型を出す大本、皆様も初年度の取り組みから参加をさせていただきます。